

ひまわりライス通信

H30、5月
No.104

皆さんこんにちは、伊藤です。ゴールデンウィーク中は生憎の天気でしたが、皆さん楽しんでお過ごしになったでしょうか？4月は初夏の陽気かと思えば5月に入ってから寒の戻り。なんだか、身体がついていきませんが、苗に負けない様に今月も元気にいってみよう。(´ω`)/★**



生産者さんの手に渡った種もみは約10日水に浸漬し、次に食酢の入ったお湯に24時間食酢殺菌します。



小さいけど、チョコンと出てるの分かるかな？積算温度が100℃ほどで小さい芽が出揃います。



4月13日種蒔きが始まりました。播種機の様子をみながら、皆で協力して作業をしています。



育苗ポット1枚に448の穴が空いていて、その中に4~5粒の種もみが入っています。



レーンに載せられてきた何枚もの育苗ポット。いよいよ、ハウスに並べていきますよ。(´ω`)



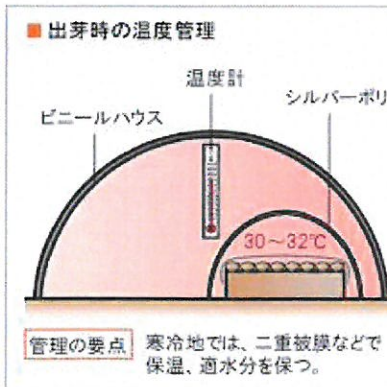
自動に左右7枚ずつ均等に並べられていきます。人は育苗ポットを補充するだけ。(´▽`)ホ-



これは育苗ポットを踏み込む機械。地面との隙間ができず、生育ムラをなくし健苗育成させます。



並び終わったら十二分に水分を与え、シルバーポリを被せ保温。冷害から種を守ります。



出芽揃いまでは、ハウス内の温度は35℃以下に保ちます。昼間はシルバーポリを被せない状態で、葉先の近くで20℃~25℃。夜間はシルバーポリを被せた状態で10℃以上の温度を保つことで、良質苗の育成ができます



但し、注意が必要！軽度の高温にあたると、種子が「湯あたり」状態になり生育が一時的に(4~7日)停滞してしまいます。重度の高温だと、芽や根が死んでしまい、撒き直しとなってしまうこともあるんです。(芽の致死温度: 42~45℃ 根の致死温度: 43℃以上)



生産者さんの毎日の温度管理と水管理のおかげで、無事4日後には、芽が出てきました。(´ω`)



一週間後には、第1葉が♪

今月も最後までお付き合い下さり、ありがとうございました。いよいよ、来月号で「田植え作業」をお伝えしていきます。お楽しみに((´▽`))ウキでは、季節の変わり目、体調にはくれぐれもお気を付けてお過ごしくださいね Oo...*(uwu人) また、来月号でお会いしましょう。(´^-`)

J A きたそらち北竜支所 営農課
 直通 0164-34-2247 FAX 0164-34-2216
 生産情報公表 J A S のHPアドレスは <http://www.hokuryu-mai.com/>